

A案（宿泊、入浴施設施設案）

A案：宿泊施設・入浴施設案

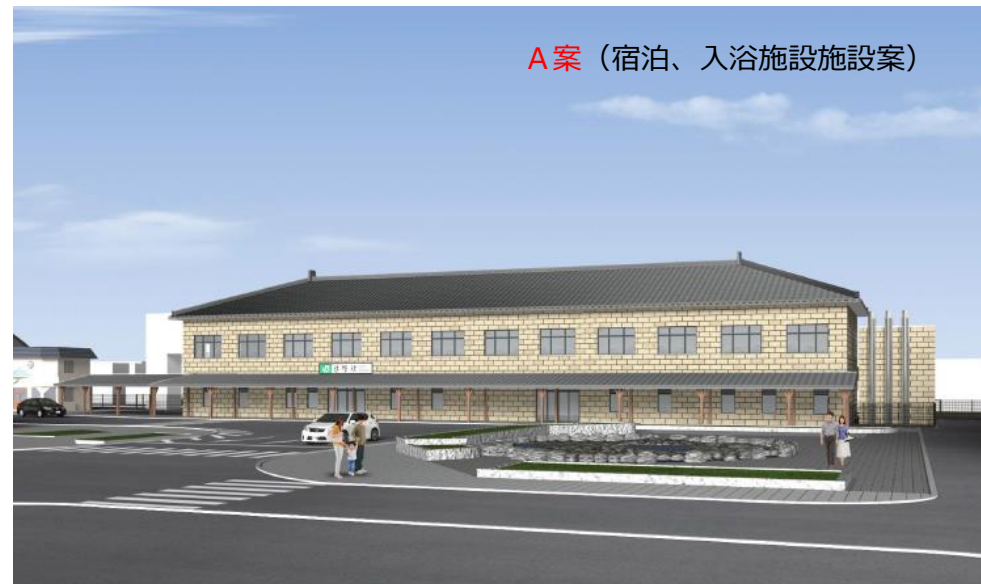
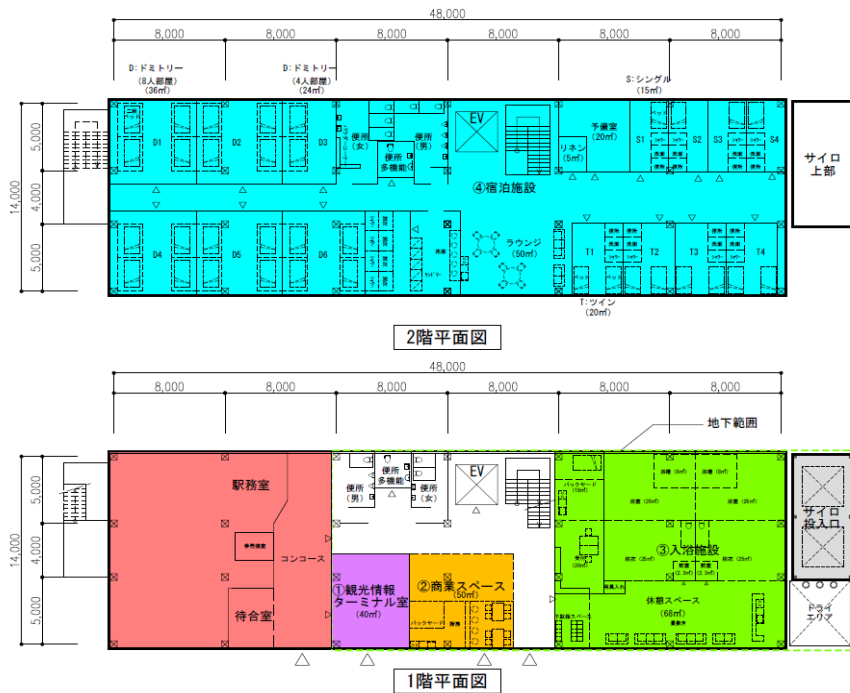
※建物規模は現駅舎の二階を増築し総2階

整備概要

床面積：2,130㎡（2階増築）

1階：駅務室、観光ターミナル、商業スペース、入浴施設など

2階：宿泊施設（ドミトリータイプ44床・客室タイプ12床）空調・給湯設備はチップボイラー



※一部地下階あり：機械・電気室

事業費：29億円

事業期間：8年間

※JRからの提案資料を基に市で試算

B案（公共施設案）

B案：公共施設案

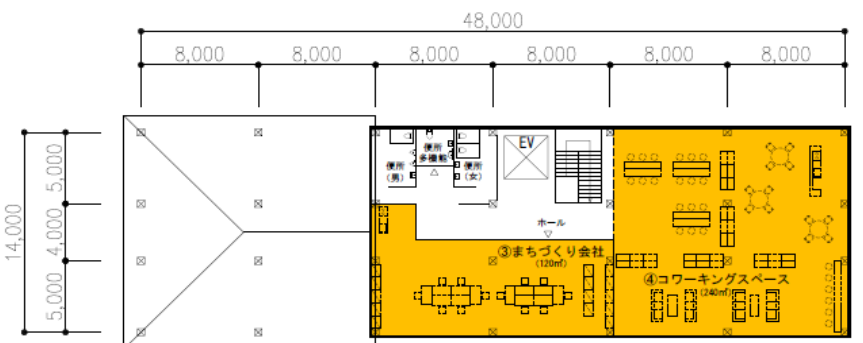
※建物規模は現在の駅舎と同じ

整備概要

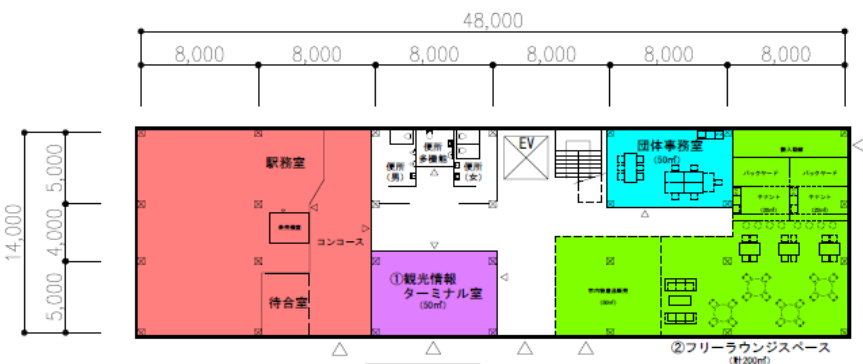
床面積：1,260㎡（現駅舎と同等）

1階：駅務室、観光ターミナル、フリーラウンジなど

2階：コワーキングスペース、まちづくり会社 空調はエアコン



2階平面図



1階平面図

※地下階なし



事業費：18億円

事業期間：7.5年間

※JRからの提案資料を基に市で試算

C案（3階建てホテル併設案）

C案（3階建 ホテル案）



R3.4.16 調査結果報告資料より（JR盛岡支社）

C-1案（3階建てホテル併設案 チップボイラー仕様）

宿泊施設として、事業可能性を考慮した施設規模でJRで検討いただいたもの

C-1案

3階建てホテル併設案
(チップボイラー仕様)

事業費：34億円
事業期間：8年間

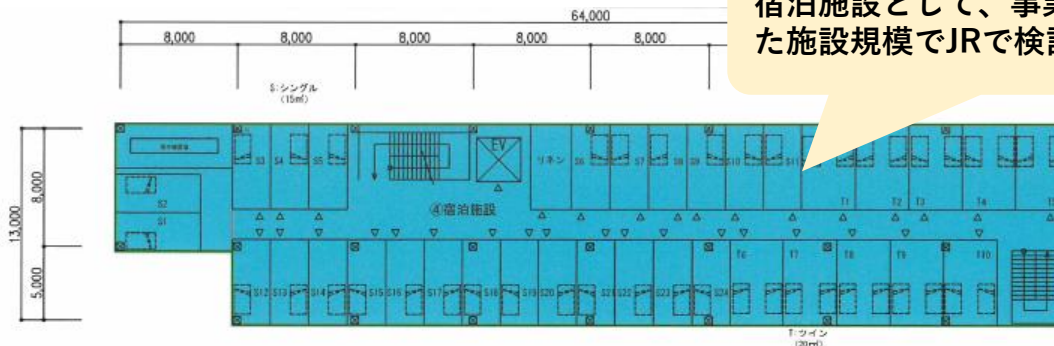
3階：通常客室（シングルルーム24床とツインルーム10床）

2階：宿泊施設（ドミトリタイプ52床）と入浴施設

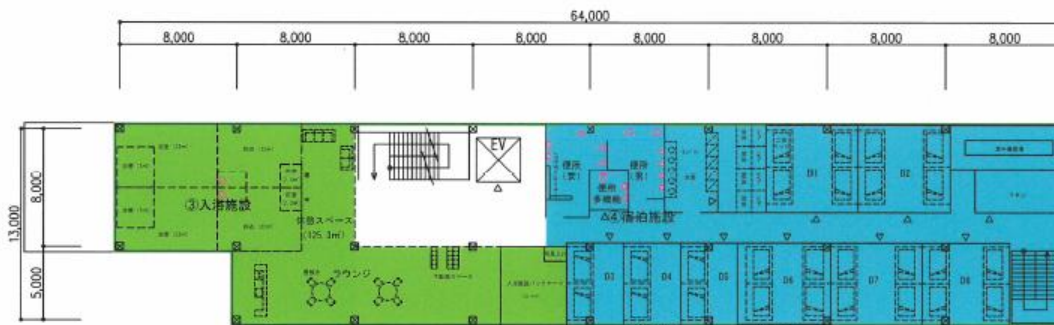
1階：駅務室、観光情報ターミナル、商業スペース、機械設備

熱源：チップボイラー

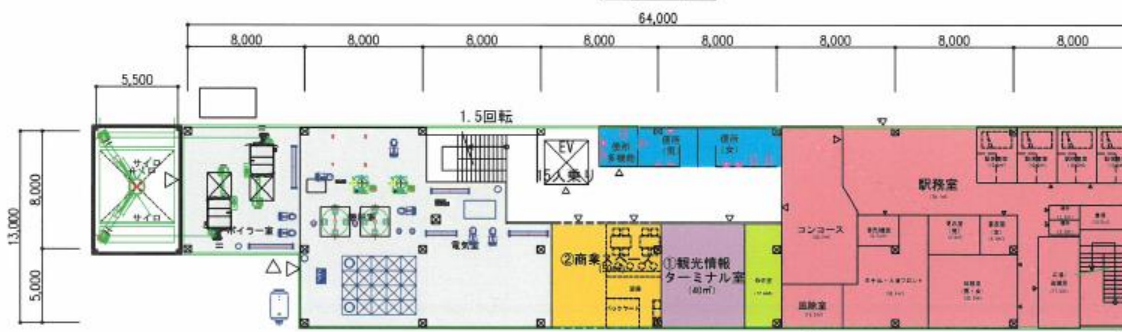
- ・イニシャル 1億円/年
- ・ランニング 9百万円/年
- ・ライフサイクル 1億9,000万円/10年



3階平面図



2階平面図



1階平面図

図であり実施にあたっては詳細な検討を要する。

C-2案（3階建てホテル併設案 重油ボイラー仕様）

宿泊施設として、事業可能性を考慮した施設規模でJRで検討いただいたもの

C-2案

3階建てホテル併設案
（重油ボイラー仕様）

事業費：32億円
事業期間 8年間

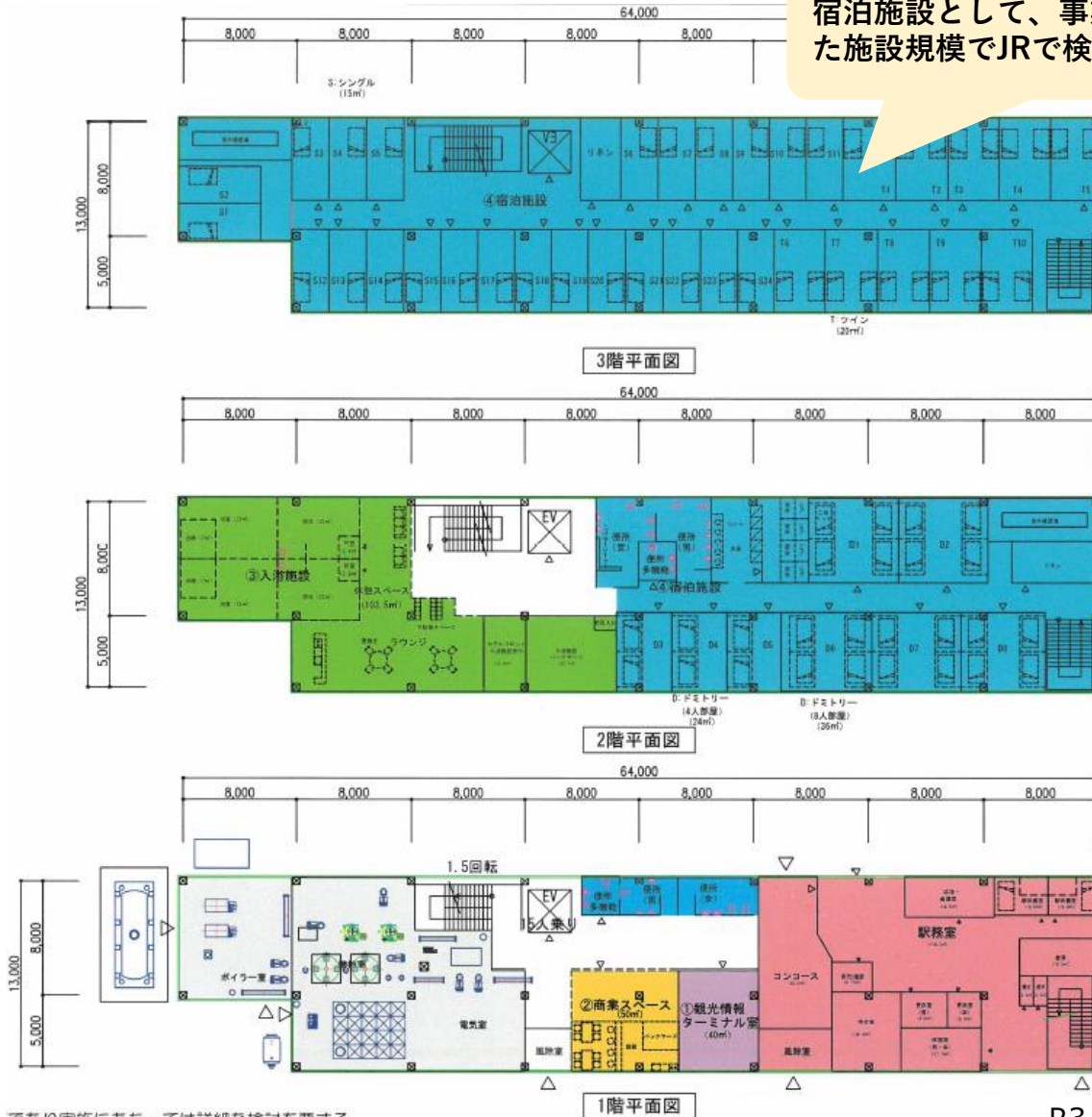
3階：通常客室（シングルルーム24床とツインルーム10床）

2階：宿泊施設（ドミトリータイプ52床）と入浴施設

1階：駅務室、観光情報ターミナル、商業スペース、機械設備

熱源：重油ボイラー

- ・イニシャル 3,100万円/年
- ・ランニング 1,300万円/年
- ・ライフサイクル 1億6,000万円/10年



であり実施にあたっては詳細な検討を要する。

R3.4.16 調査結果報告資料より（JR盛岡支社）

E案（既存規模+自由通路併設案）

北側（材木町）

R3.4.16 調査結果報告（JR盛岡支社）

E案

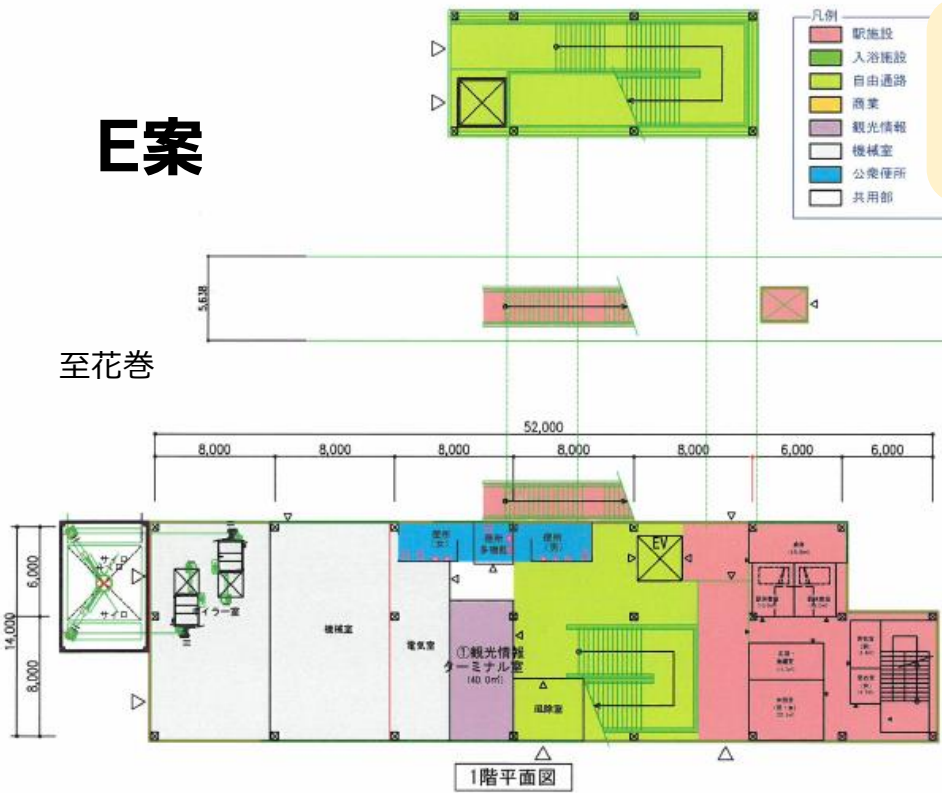
凡例

駅施設
入浴施設
自由通路
商業
観光情報
機械室
公衆便所
共用部

跨線橋・エレベーター整備
等が可能な新たな公共施設
案として検討したもの

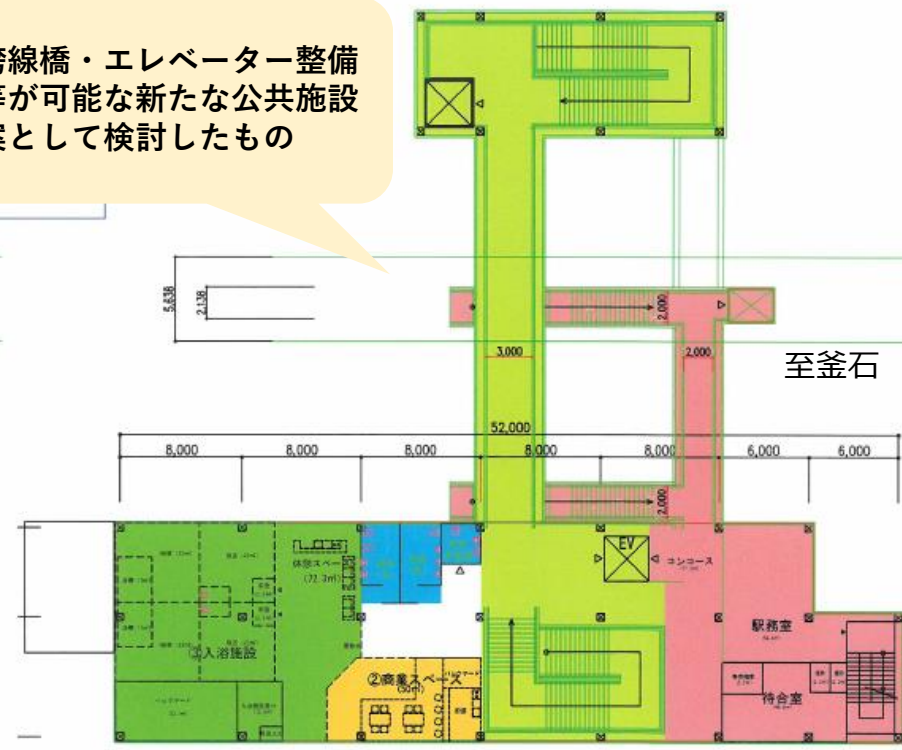
至花巻

至釜石



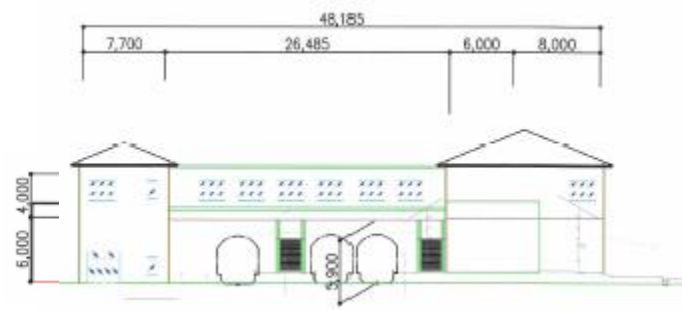
南側（駅前）

2階平面図



事業費：38億円 ※事業費はJRからの提案資料を基に市で試算
事業期間：8.5年間

- ・2階：駅務室、入浴施設と商業スペース、自由通路（幅員3m）
- ・1階：エントランス、観光情報ターミナル、機械設備
- ・跨線橋も駅舎と一体的に整備
- ・熱源はチップボイラー



事業期間について

※整備に必要な事業期間

A B C E 案 : 7.5~ 8.5年間

※ J R 資料を基に遠野市で試算したもの

※事業期間の内訳

- ① 基本設計 約 1 年 (基本設計協定)
- ② 実施設計 約 1 年 (実施設計協定)
- ③ 支障工事 約 2 年 (施行協定)
- ④ 本体工事 約1.5~ 2.5年 (")
- ⑤ 各協定間協議等 約 2 年

※支障工事：仮駅舎整備及び通信設備の移設等の仮設工事

検討案一覧

	A案 (宿泊施設)	B案 (公共施設)	C-1案 (宿泊施設)	C-2案 (宿泊施設)	E案 (公共施設)
駅舎整備 概要	2階建 (2階増築)	2階建 (既存規模)	3階建	3階建	2階建 (既存規模 +自由通路)
事業費	29億円	18億円	34億円	32億円	38億円
事業期間	8年間	7.5年間	8年間	8年間	8.5年間
空調・給湯 設備	チップ ボイラー	空調：エアコン 給湯：個別	チップ ボイラー	重油 ボイラー	チップ ボイラー

※事業費はJR資料を基に現時点の概算額を遠野市が試算したもの。

※事業費の負担割合はJRとの協議が必要となる。

方針決定に向けての留意点

- ① 遠野駅舎は、建て替え案を前提に協議を進めることとなっているが、現時点では各検討案において財源及び建物仕様の見直しなど様々な点で事業実施の可能性を再検討しなければならない。
- ② 遠野駅舎整備については、市としての観光戦略上の位置づけを明確にし、どのような体制で観光施策を推進していくかが課題として挙げられており、今後、各関係団体との連携を深めながら方向性を定めていく必要がある。
- ③ 改修計画成案までには「中心市街地活性化協議会」や「遠野駅舎の未来を考える会」に引き続き情報共有しながら合意形成を図っていく。